

# 市之川公民館だより

平成 30 年 3 月号  
(No.531 号)  
発行；市之川公民館  
西条市市之川 6678-1  
Tel&Fax； 56-3300

## 3 月 弥生 (やよい)

南の方では桜の便りが聞かれる頃となりました。まだまだ寒い日が続きますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。あと少しで、暖かい過ごしやすい気候となることでしょう。風邪などひかれませぬよう、暖かくしてお過ごしください。

### 《3 月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
10	土	カラオケ会 10:00~ 集会室
21	水	祝 春分の日
24	土	カラオケ会 10:00~ 集会室

### ※ ふるさとの集い

日 時 : 4 月 8 日 (日) 11 時 ~ 13 時  
場 所 : 市之川公民館 集会室  
会 費 : 1000 円  
申し込み : 3 月 25 日 (日) までに、市之川公民館 (Tel 56-3300) へ



### ※ 市役所玄関の展示替え

1 月 25 日 (木)、ベルチェ鉱と黄安華を加えました。



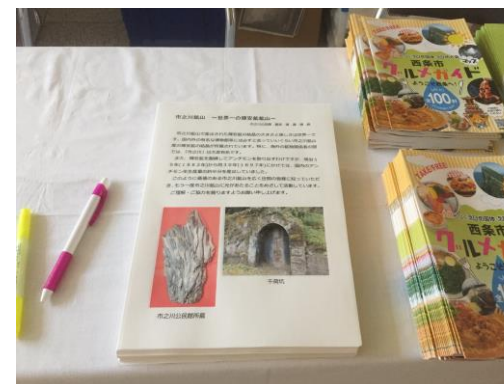
### ※ 道路の穴の補修

1 月 25 日 (木) に 9 か所、29 日 (月) に 3 か所、補修されました。



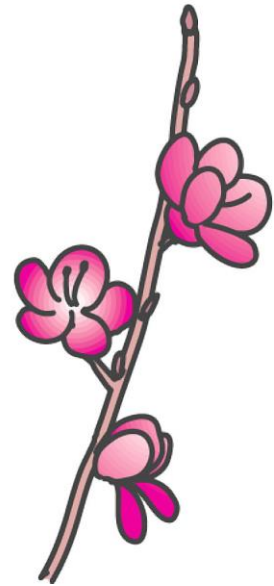
### ※ 東予東部圏域振興県民シンポジウム

2 月 10 日 (土)、総合文化会館で開催されました。市之川鉱山は残念ながら話題にはあがりませんでした。受付で持ち込んだちらしを配っていただき、会場にはパネルを 3 枚展示してくださいました。



# ※ 今期、三度目の雪化粧

2月13日(火)、みごとに雪化粧しました。



○ 名もしでの 路傍の草も 花が咲く  
 ○ 葉ワサビの 香りも高く 酒のあて  
 ○ 谷川の 瀬音楽しく 糸を垂れ  
 ○ 梅の香に 誘われつみし 花の束  
 ○ カラオケも 歌ってみただけ 声も出ず  
 ○ ふきのとう 雪を持ち上げ 春を呼ぶ  
 ○ 道草も 一雨毎に 春を呼ぶ  
 ○ 春の風 小鳥楽しく 鳴き声も  
 ○ 雨もやみ 日長の春を 歩みより  
 ○ 雪降りて 四駆で登る 市之川  
 ○ 春立つ日 凍てつく夜の 大三角  
 ○ 梅林と デコボコ道の 市之川

館館館知知知正正正正正正  
 長長長 歛歛歛

## 文芸欄

# ハッピーアイランド 福島

東日本大震災から、7年目を迎えようとしています。西条市立橋小学校は、校名が同じという縁があって、福島県の郡山市立橋小学校と交流を続けました。

震災から2か月たったころに届いた手紙の一部を紹介します。まずは、地震が起きた時の状況です。

いきなりブランコみたいに強くゆれてびっくりしました。この世の終わりかと思いました。体育館のかべや集会ホールの天井が落ちました。(5年生)

急にふぶきになったり、よしんが起きたりして、こわくて泣いてしまいました。でも、みんなで力を合わせなきゃあいけないと思い、毛布や上着は、小さい子にあげて、ぼくと6年生は、寒いのをがまんしました。(4年生)

水が出なくて、外で食器を洗いました。冷たかったです。(3年生)

やさしく力強い子どもたちから、勇気と元気をいっぱいもらいました。ところがその後、耳をふさぎたくなるような出来事が続けて起きました。

『どこから来たの』と聞かれたので、『福島から』と答えると、『放射能がうつる』と叫び、逃げて行った。『幼稚園に入園させようとしたら、園側から『福島から来たことは内緒に』とくぎを刺された。』など、避難先でのいじめやホテルの利用拒否などの報道が相次ぎました。『ばい菌』と呼ばれ、多額の金銭を要求された生徒は、「いままでなんかいも死のうとおもった。でも、しんさいでいっぱい死んだからつらいけどぼくは生きるときめた。」と手記に書き、思いを伝えました。

そして、「福島差別」という言葉がつくりだされました。これは、放射線による被害という自然科学の問題であるかのように見せかけながら、私たちが人為的につくりだしてきた社会問題です。そこに見られる偏見に基づく排除や忌避の意識は、他の差別事象につながるものがあります。差別は、いかなる理由があろうとも許されてはなりません。

最後に、福島の子どもたちから届いた、西条の友だちへのメッセージを紹介します。

ほうしゃのうがおさまったら、いっしょにあそぼうね。(1年生)

そちらはたいへんなことは、ありませんか。かなしいことは、ありませんか。いつでもそうだんにのりますよ。いつか会えるといいですね。(2年生)

震災前に、400人ほどいた友達が、今では360人に減ってしまいました。でも、私たちは負けません。

福島は、ハッピーアイランド。「福」のある「島」なのです。(6年生)

「福島差別」なんて言葉をつくりだした私たちの社会に届いてほしい、子どもたちの温かさたくましさです。